



イタリアと日本は、どんな結びつきをもっているの



イタリアの美術・音楽・ファッション・料理などの文化は、日本でも人気があるんだよ。

1271～1295年に、商人として元(中国)に旅行し、中国人から聞いた日本のことを、旅行記「東方見聞録」で、ヨーロッパの人々に初めて紹介したマルコ・ポーロは、イタリア北東部の都市ベネチアの市民です。この中で日本は、「黄金の豊かな国ジパング」としてあつかわれています。日本との正式な国交は、1866年に「日伊修好通商条約」が結ばれてからです。第2次世界大戦で敵国の関係にならなかったこともあって、伝統的に日本と友好関係をもっています。

文化での結びつき

イタリアは、紀元前から文化が栄えた国で、古い建築物や、有名な画家がかいた絵などの文化財が多く、日本からたくさんの観光客が訪れています。音楽のド・レ・ミは、11世紀にイタリアで考え出されたイタリア語です。オペラ(歌劇)もイタリアで生まれた文化で、「セビリアの理髪師」「蝶々夫人」などのイタリアオペラは、日本でも有名です。近年はミラノが、ファッションの流行を世界に送り出している基地として注目され、日本にも「ミラノファッション」が取り入れられています。また、日本では近年、パスタ(小麦粉をこねてつくった食べ物)などのイタリア料理の人気が高まり、イタリア料理店が増えました。

貿易での結びつき

日本は、イタリアに自動車・オートバイ・コンピューター・テレビカメラなどを輸出し、イタリアから衣料品・ハンドバッグ・アクセサリ・くつ・ワイン・オリーブ油などを輸入しています。